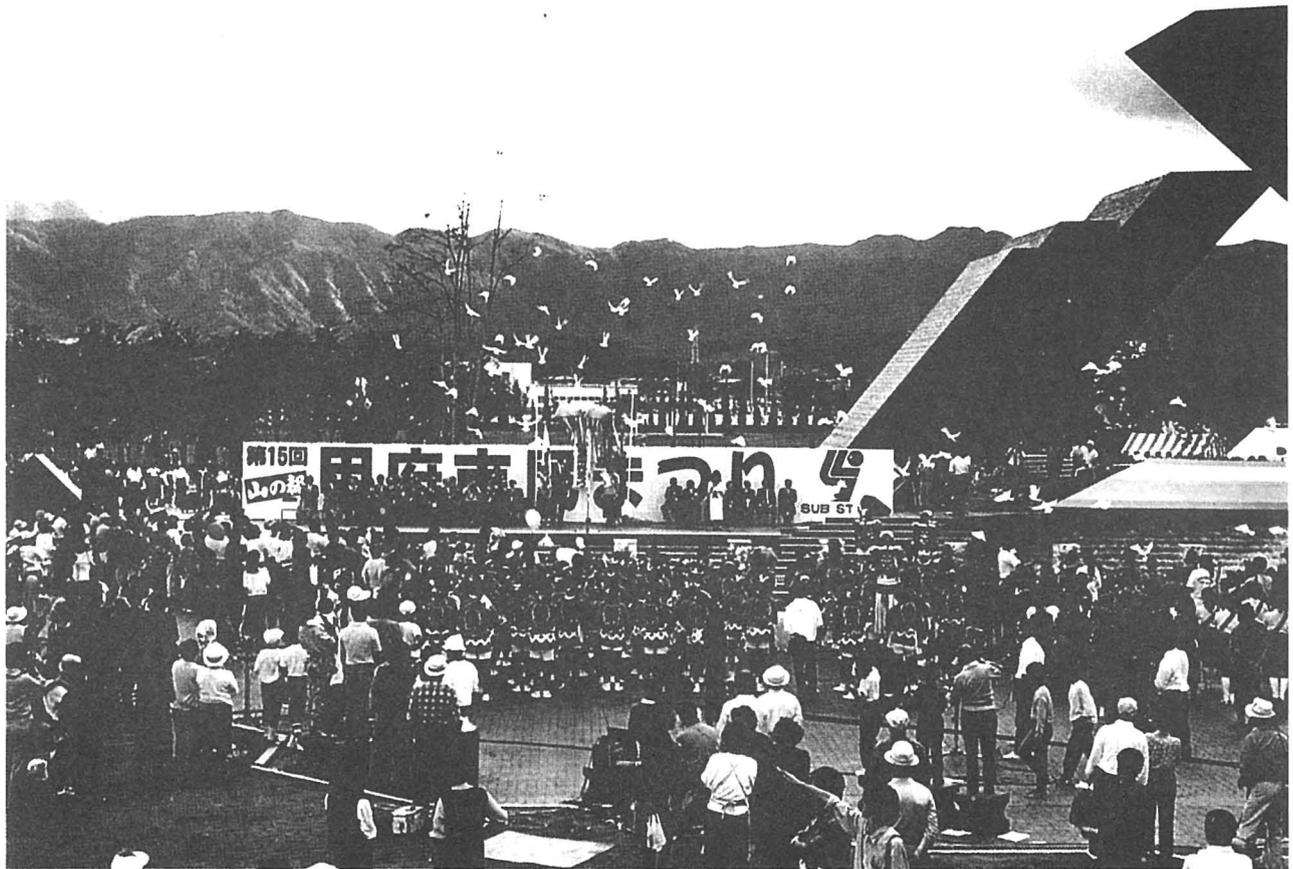


甲府市議会だより

第75号

昭和62年11月1日

編集・発行
甲府市議会だより
編集委員会
電話(35)7054
甲府市議会事務局



甲府市民まつり開会式

公文書公開条例制定など 35案件を可決

9月定例会

九月定例会は九月二十五日に招集され、会期を十月二日までの八日間と決め、市長から提出された補正予算、条例の制定及び一部改正、市町の境界変更、財産の取得、請負契約の締結など三十六議案について審議しました。

一般質問は各党派を代表して、岡伸・斉藤憲二(社会党・市民連合)堀内征治(公明党)剣持庸雄(政新会)加藤裕(日本共産党)宮川章司・小野雄造・皆川巖(市民クラブ)の各氏が行い、市長等に答弁を求めました。

最終日の本会議では、市長から申し出がありました「公平委員会委員の選任について」の議案撤回を承認し、他の提出議案については、いずれも原案のとおり可決等しました。

また、この日の本会議で陳情「極左暴力集団並びにすべての暴力行為排除について」の採択に対して反対討論がありました。起立採決により採択されました。

このほか国への意見書提出一件、決議二件を可決、さらに、昭和六十一年度甲府市各会計別決算等の認定については「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中の継続審査に付することを決め閉会しました。

おもな内容・ページ

定例会要旨	1
一般質問、定例会審議日程	2
一般質問、定例会質問要旨	3
一般質問	4
一般質問、決算審査特別委員会設置、委員会審査の主な内容	5
請願・陳情の審査結果、請願はどう処理されたか、議会を傍聴して	6
各党派の意見	7
意見書・決議、米国・欧州に議員を派遣	8
	9
	10

一般質問



九月定例会の一般質問は、九月二十八日から三日間にわたって行われ、各党派を代表して八氏が市長の政治姿勢、シティホール（新庁舎）建設事業、第三次総合計画、甲府都市計画区域の線引き直し（大里地区の暫定逆線引き）、下水道事業計画、国民健康保険料金、県立甲府工業高校の移転、地場産業の振興など当面する市政の問題について活発な質問を展開しました。その主な内容は次のとおりです。

下水道幹線事業は大幅に進捗

【問】下水道事業の総合的計画と、千塚・羽黒地区の整備計画及び受益者負担金について示せ。

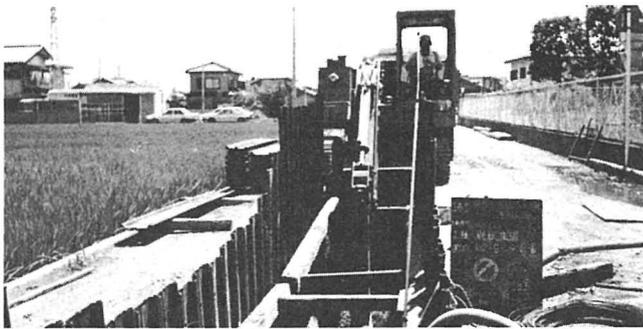
【答】本市の下水道整備は、下水道第四期計画に基づく、一、九、九四・二ヘクタールの認可区域を国の

水道整備第六次五ヶ年計画に添って事業費の拡大確保を図る中で推進しているところであるが、事業の特殊性はもとより、多額の事業資金を必要とすることから、思うように進捗が図れないのが実態

である。効率的な事業推進を図るうえで整備方針を人口密集地区を優先しながら逐次周辺部の整備を図る。

千塚、羽黒地区の整備計画は、今年度の内需拡大策の関係もあって幹線整備が当初計画より大幅に進むものと予測される等好条件はあるものの幹線整備が完了し面的整備が完了するまでには、今しばらくの時間が必要となる。

受益者負担金の取扱いについては、現在のところ西部負担区が、一平方メートル当り二百六十七円八十七銭になっているが、建設省の指導方針等も勘案しながら今後基準額を定めて参りたい。



〈下水道工事（上石田三丁目地内）〉

◇新庁舎建設◇

プロジェクトチームで検討

検討

【問】庁舎建設についてどのようなことを考えているか。

【答】庁舎建設は、現在庁舎が分散しているうえに会議室も不足しており、また、駐車場も四十四区画と少なく、市民サービスのうえからも問題がある。

たまたま、市制百周年を迎えるにあたり、市民のアイデア募集、あるいは第三次総合計画策定に当たっての市民アンケート等から、庁舎を含めたシティーホール建設への期待が一番多くあった。

これらを踏まえて、市議会にも百周年記念事業構想を報告したところである。

庁舎建設の大きな問題は、財政とその建設位置が課題であり、議会の特別委員会にも庁舎建設の一定の規模、財政問題を提示したが、ご指摘にあるように、現在地での問題点も十分考えられるので、他に建設する場合との比較も十分に言うべく、十月一日、庁内に新庁舎建設推進プロジェクトを編成して、慎重に検討を行い、併せて、議会の特別委員会の意向も尊重して対応したい。

九月定例会 審議日程

9月25日(金)	開会、提案理由の説明
26日(土)	休会
27日(日)	休会
28日(月)	本会議、質疑及び市政
29日(火)	一般質問
30日(水)	本会議、質疑及び市政
10月1日(木)	一般質問、各常任委員 会付託
2日(金)	各常任委員会
	本会議、各常任委員長 報告、決算審査特別委 員会設置、決算審査特 別委員会付託、閉会

チビッコ広場は空地の有効活用で

【問】幼児が安心して遊べるチビッコ広場を増設する考えはないか。

【答】チビッコ広場の確保については、地域の皆様のご協力を得ながら、空地の有効活用を図るとともに、更に都市計画法による宅地の開発行為により確保された広場を、チビッコ広場として整備を図り、子供達が安心して遊べる広場の確保に努力する。



<大里地区>

逆線引き地域には 土地区画整理事業で 対応を

対応を

【問】大里地区暫定逆線引きに関する総合的な施策を示せ

【答】大里地区の開発、特に面的開発に関しては、十分でないことは否定するものではないが、公共下水道事業の鎌田川幹線雨水渠築造、市道の整備改良としては、高畑二日市場線をはじめ、宮原円満寺線、大鎌田二川線、さらには、市営大里北団地建設など、地域開発の一環として整備してきたことはご理解

解いただきたい。

地域開発は、住民のコンセンサスをいただいて進めることが不可欠であり、今後においては、土地区画整理事業を通じて、適切な対応を考えている。

都市計画法の運用と住民の合意形成についてであるが、都市計画法は、基本的には健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保することであり、理念として土地の利用について適正な制限を課することによって合理的な利用が図られねばならないことが明らかにされているところであって、お互いに守るべき最低限のルールについては、市民の皆様がぜひとも御理解と御協力を頂きたいと考えている。

積極的な 人口増対策は

【問】新総合計画で想定した人口が達成されなかった要因は何か、また今後積極的に人口増対策をとるべきと思うが、

【答】近年、本市の人口は微増に留まっているが、その主な要因としては、出生率の低下をはじめ、核家族化や地価の上昇に伴う若年層の市外流出が進んだことなどが考えられる。このことは、本市周辺

町村の大幅な人口増加からも推測できる。

積極的な人口増加対策をとることであるが、市民が生活していくためには、労働の場の確保や生活環境の整備状況、更には都市計画における用途区域区分など、それぞれ都市に地域的条件があり、その地域に相応した人口が定着するものと考えられる。そのためには、まず、都市基盤の整備と産業の振興に努め、その結果として人口が増加していくといった考え方で施策を進めていきたい。

広域リゾート構想を 質す

【問】県の広域リゾート構想について県と市の計画の整合性をどのように図るのか。

【答】リゾートエリアは峡東から峡北にかけ、十九市町村の四〇万ヘクタール余の地域であり、甲府市も区域に入っている。

今後、関係市町村で推進協議会を設け、民活を中心とする事業の検討や公共施設の整備など基本構想策定のための調査を行っていくが、リゾート法に定める重点整備事業として、市の計画している事業が整備できるように関係市町村との協議を進めていく考えである。

昭和62年9月定例会質問要旨

氏名	党派	質問の要旨
岡 伸	社会連合	市長の政治姿勢について 一〇〇周年(庁舎)事業について 教育問題(商業専門高等学校)について 福祉問題(老人、痴呆症対策)について 水道料金の見直しについて
齊藤 憲二	社会連合	大甲府市構想について ゴミ処理について 都市計画街路について 空き教室利用の問題について 南西総合福祉センター管理運営について
堀内 征治	公明党	都市計画法における甲府市都市計画区域区分、大里地区特定保留暫定逆線引きの総合的施策について 緑が丘運動公園の譲受について 新都市拠点整備事業について 住宅福祉の充実と保健・医療・福祉施策の総合化について 洋上学校構想の実現について
剣持 庸雄	政新会	市長の政治姿勢について 観光行政について 下水道事業計画について その他
加藤 裕	日本共産党	緊急経済等に係る補正についての市長の政治姿勢について 国民健康保険証取り上げ制裁措置について 逆線引き問題について 中学校給食について 児童公園及び緑が丘スポーツ公園の移譲について
宮川 章司	市民クラブ	行財政改革のあり方について 北部山岳地域の開発のあり方について 中小企業の育成について 県立甲府工業高等学校の移転について その他
小野 雄造	市民クラブ	荒川ダム水系に淡水魚(山女、イワナ、マス)養殖場建設について ロック山に青年希望館の建設について 中学校外人英語講師の派遣について 夜間教育相談所の開設について 下水道の補助金問題について
皆川 巖	市民クラブ	観光行政について 舞鶴城の有効利用及び周辺整備について 事務処理の電算化・OA化対策について 地震防災施設と広報活動について 中心商店街の活性化と新庁舎建設構想について

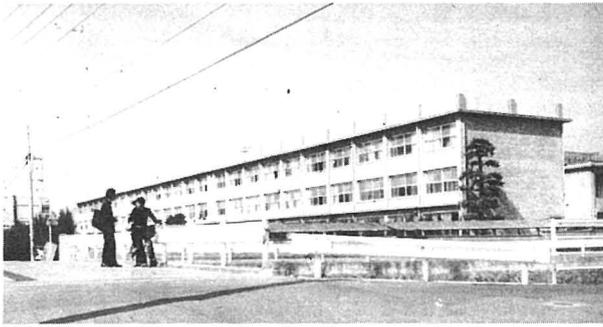
一般質問

甲府工業高校

市内への移転の見通しは

【問】甲府工業高校の移転先については、当然甲府市内であるべきと思うがその見通しは

【答】甲府工業高校は、愛宕町下条線の街路計画により、グラウンド等の一部をカットする事になりませんが、このことによる移転問題は、



〈甲府工業高校〉

この学校が、大正六年、甲府市立工芸学校として発足し昭和十六年国策により、県へ移管したもので当時、二〇、七一四平方メートルの用地、三、五六六平方メートルの校舎及び五九、七〇〇円の寄附をした経過を考えたとき、市外へ移転することは、必然的に成り立たないと考えるが、先般、甲運地区からの誘致陳情もあり、これらを踏まえて、県との話し合いを行いたいと考えている。

産業全般の

調和のとれた 施策を推進

【問】産業の調和のとれた経済開発をどのように進めるのか。

【答】本市における産業別就業者は、第一次産業四パーセント、第二次産業三一パーセント、第三次産業六五パーセントと、第三次産業が主であるが、著しい都市化現象が進むなかで、ぶどうなど果樹を中心とする近郊農業の振興、先端技術産業の立地と地場産業の集約化並びに商店街の近代化などによる商工業の活性化を進めながら、産業全般にわたり調和のとれた施策を推進するのでご協力を願いたい。

地場産業の

将来ビジョンを 示せ

【問】地場産業の将来ビジョンについて示せ。

【答】本市の地場産業は地域経済社会の発展をささえるうえで大きな役割りを果たしている。

振興策としては、付加価値の高い地域伝統地場産業の振興、また新しい都市型工業の育成と進展促進、都市型消費財生産を主流とする既存企業の体質強化、先進技術企業の誘致と既存関連企業の技術力強化等を軸に、地域工業の繁栄と都市機能の調和を図りつつ、地場産業センターを拠点として総合的な振興を図っていく。

中小商業輸入品の

販売促進を 実施

【問】円高不況化における中小企業への対策を示せ。

【答】長期化している円高は、企業全般に大きな影響が懸念される。対策としては、昨年創設した、

円高対策特別融資等、制度の充実を図っていく。また、公共事業につきましても、予算の増額補正と執行については、機動的な執行促進を図る。

更に本年度は、商工会議所への助成による中小商業輸入品販売促進事業の実施、また地場産業センターを拠点としての地場産業まつり、新商品開発フェア等を実施し、中小企業対策を図る考えである。

荒川ダム南側の

ロック山へ 青年希望館を

【問】荒川ダム南側のロック山へ人づくりの拠点となる青年希望館を建設する考えはないか。

【答】本市のメルヘン構想は、北部山岳地域を個々の地区の特性を生かしながら、ユニークな、夢のある施設の建設を推進していこうとするものである。

提案のあったことについては、近く発足するメルヘン構想推進委員会へかけて研究してみたい。

各種審議会委員の

選考取扱要領を 作成

【問】各種審議会委員及び懇話会委員等の任命はどのように考えているか。

【答】市の附属機関及び各種審議会、協議会の委員については、各主管部が、それぞれ選考し委嘱しているところであるが、同一人に数多くの委員を委嘱することは是非について、過去、議会からも指摘を受けている。今回、広範な人材の中からより多くの市民の声を反映できるよう、附属機関等の委員の任期の限度、重複選考の制限等、選考に関する取扱要領を作成し十一月一日から実施する予定である。



〈ロック山〉

第三次総合計画で

目標とする

都市像は

【問】第三次総合計画における都市像についてどのように考えているか。

【答】第三次総合計画で目標とする都市像は、

- 一 心かよう人間都市
- 二 さわやかな文化都市
- 三 住みよい安全都市
- 四 活力ある産業都市
- 五 魅力ある快適都市

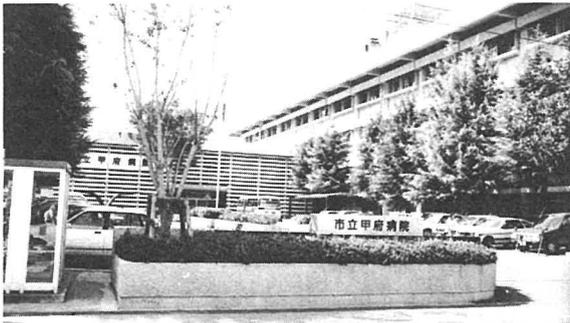
の五つの都市づくりをめざした計画とすべく、現在作業を進めている。また、総合計画審議会でもご討議をいたしており、方向等についてご答申をいただくことになっているのでご理解願いたい。

伝染病棟の

有効活用を

検討

【問】市立甲府病院に併設されている伝染病棟を効率的に運用することはできないか。



〈市立甲府病院〉

【答】本市の伝染病棟は、伝染病予防法に基づき市立病院に併設し、当時、国の指導基準が人口五、〇〇〇人に一病床ということで、四一床を設置したものである。

近年の伝染病患者の発生状況からして、伝染病棟の見直しを行う必要がある、既に病床等の縮小を含め、県を通じて厚生省と折衝中である。

最近の国の指導としても人口一〇、〇〇〇人に一病床に変更されており、広域医療圏についても包含するという指導もあるため、県との協議のなかで、二八床まで縮小可能との感触を得ている。

しかし、本市は、昭和六十年年度に伝染病舎整備補助金を受けて、一部内部改装等の工事を施行した

経過もあるので、直ちに縮小することは難かしいが、伝染病棟の効率的運営のため、病床の縮小については今後とも実現に向けて国に働きかけを行う。

国民健康保険

保険料軽減の

努力を

【問】国保料の引き下げと国庫補助金の増額を要望する考えはないか。

【答】昭和六十二年年度の国保料本算定については、当初、前年比六・四一パーセント増で予算を組んでいたが、幸い六十一年度決算が予想より良い結果となったので、六月議会での要望等も踏まえて、四・五パーセントの引き上げに抑えることができた。

もちろん当局としては毎年の保険料引き上げを市民の皆さんにお願いすることについて大変心苦しく思っており、本年度四・五パーセントに抑制したことについても十分であるとは思っていない。今後引き続き軽減のための努力をする。

また、特に国庫補助金の削減等によって国保財政が非常に苦しくなっている現状について、制度そ

のものの抜本的改革も含め、補助金の増額など、今後とも全国市長会、国保連合会等を通じて強力に国に働きかけていく所存である。

大河ドラマで

観光に

はずみを

【問】今後、本市の観光行政をどのように進めるのか伺いたい。

【答】商工業の活性化と併行して新しい時代に応える総合的な、観光施策の推進は、「活力ある産業都市」をつくる基本である。

本市は、北部の山岳地帯を中心として、恵まれた自然環境と昇仙峡、武田史跡など、全国的な名勝地も数多く、自然を生かした観光地「山の都 甲府」としてのイメージアップをさらに図っていく必要がある。

ご指摘のとおり、大河ドラマ放映に伴う波及効果は非常に大きく本市の産業経済の発展のためにも一過性のものに終わらせてはならないと考えている。

特に市制百周年へ連動する時期でもあるので、目下進めている三世代市民運動とも関連させ、市民総ガイド役の意識高揚についても広報テレビ等を通じて推進してい

くとともに、観光基本計画に基づく観光施設の整備充実についても計画的に対応していく考えである。

生ゴミ処理器を

試験中

【問】ゴミ減量のため、生ゴミ処理器を普及させる考えはないか。

【答】生ゴミ処理器については、現在、山城、大里地区の一部の農家のご協力を得るとともに、環境部でもこれを設置して試験中であり、十一月には調査結果が集約されるので、この結果を踏まえて前向きに検討したい。



〈生ゴミ処理器〉

一般質問

福祉センター

管理・運営の委託を検討

【問】福祉センターの管理運営についての考え方を示せ。

【答】(仮称)南西部福祉センターについては、地域のご協力の中で、現在建設を進めているが近く竣工する予定で、四月オープンに向けて諸準備を進めているところである。

決算審査特別委員会を設置

九月定例会に、「昭和六十一年度甲府市各会計別決算の認定について」、「昭和六十一年度甲府市各企業会計別決算の認定について」及び「昭和六十一年度甲府市・玉穂町中学校組合一般会計決算の認定について」が提出されました。

議会では十月二日の本会議で、これを審査するための「決算審査特別委員会」を設置して、委員十四名を次のとおり決め、閉会中の継続審査に付することにしました。委員会の審査結果は、十二月定例会で報告する予定です。



委員長 堀口 菊雄

副委員長 秋山 雅司

- 委員 三井 五郎 原田正八郎
- 清水 節子 牛奥 公貴
- 小野 雄造 皆川 巖
- 岡 伸 齊藤 憲二
- 石原 貞夫 堀内 光雄
- 内藤 幸男 加藤 裕

る。

この管理運営についても検討を行っているが、議会の行革特別委員会の意向をも参考にし、また、運営、管理、経費面、行政サービス及び効率の運用面等、多角的な立場から委託についても検討している。

ただ、委託先については、ご指摘のように、法的制約があることも承知しているが、現在は、受託適格である社会福祉法人を考慮しており、委託の範囲、専門職員の配置の方法等についても、総合的な検討をしている。

いずれにしても、管理上、的確な対応のできる体制をとる考えである。

委員会審査の主な内容

総務委員会

◇公文書公開制度の運用を適切に 甲府市公文書公開条件制定について、当局から来年四月の施行にむけ規則および事務取り扱い要領の作成、さらに公開文書の統一的判断、公開に関する判定をおこなう調整委員会の設置を進めていくとの説明があり、これに対し委員からは、その運用を誤まらないよう要望する意見がありました。

◇各種行政委員会等の委員の選任は市民各層から 市政功労表彰者の決定について議案に関連して委員から、市政功労表彰者詮衡委員会また各種行政委員会委員の選任にあたっては、同一者に片寄ることなく、広く市民各層から人材を求めようとする意見がありました。

◇各種事案を安易に専決処分することのないように 専決処分について(建物収去土地明渡請求控訴事件に関する和解について)、議案に関連して委員から、市有地の登記事務を促進し未登記の解消に努めるよう要望する意見がありました。

民生委員会

また、専決処分について(交通事故の示談締結及び損害賠償の額の決定について)、議案に関連して委員から、交通事故の再発を防止するため、車両管理者の適切な配置を行うとともに、運転業務に関する安全教育を一層充実させるよう要望する意見がありました。

さらに他の委員から、今後は各種事案を安易に専決処分することのないよう強く要望する意見も出されました。

都市開発委員会

昭和六十二年甲府市一般会計補正予算(第三号)中所管分の教育費に関連して委員から、甲府市土地開発公社の組織について、用地買収の実情にそぐわない面があり、今後改革すべきであるとの意見が出されました。

建設委員会

◇小規模林道整備を積極的に 昭和六十二年甲府市一般会計補正予算(第三号)中所管分の林道整備事業に関連して委員から、広域基幹林道のみでなく、地域住民の生活に密着した小規模林道整備も積極的に進めるよう要望する意見がありました。

水道委員会

◇し尿処理場建設と工業団地建設は並行して事業の促進を 昭和六十二年甲府市一般会計補正予算(第三号)中所管分のし尿処理場建設事業費に関連して委員から、し尿処理場建設のみが進行し、西下条町及び小曲町地内の工業団地建設に伴う用地買収事務に遅れがみられるとの指摘がありその促進方を強く要望する意見が出されました。

◇甲府市土地開発公社の組織の改

請願・陳情の審査結果

請願

採択されたもの

〔総務委員会〕

- 人事院勧告完全実施（自治労山梨県本部甲府市職支部執行委員長・金箱憲一ほか）
- 〔建設水道委員会〕
- 消防署移転に伴う通学路沿い河川への歩道設置（伊勢地区自治会連合会会長・原田文雄、伊勢小学校父母と教師の会会長・相川吉保）

〔総務委員会〕

採択されたもの

〔総務委員会〕

- 極左暴力集団並びにすべての暴力行為排除（財）山梨県防犯協会甲府支部支部長・山下日本）
- 〔総務委員会〕
- 市庁舎の現在地への新築（春日地区自治会連合会会長・小林莊吉ほか）

〔総務委員会〕

○新市庁舎は現在地へ建設（市庁舎建設に対する中心部商店街の会代表・小林公一郎ほか）

〔経済都市開発委員会〕

○国民健康保険制度の改善等（甲府共立病院院長・土屋和子ほか）

請願はどう処理されたか

市長結果報告

昭和六十二年六月定例会採択の

- ▽道路側溝の改修について（朝日町自治会会長・横森秀文）
- ▽都市計画街路愛宕町下条線の拡幅工事が、昭和六十三年度完了予定でありますので、完了後速やかに計画実施する予定であります。
- ▽身延線住吉本町踏切歩道設置（甲府市住吉四丁目九番二号・新田悦子、甲府市住吉三丁目十八番十七・三号・中村綾子）
- ▽東海旅客鉄道株式会社と協議の結果、鉄道施設の配置状況及び接続道路等の関係上、両側に歩道を設置することは不可能であるため、片側（南甲府駅側）に一・五メートルの歩道が昭和六十二年度中に設置されることになりました。

- 県営ファミリールール等の建設計画反対（山梨県民営プール協会代表世話人・佐田武彦ほか）
- 小瀬スポーツ公園へのゲートボールコート新設（甲府市ゲートボール協会会長・高遠啓一）

撤回されたもの

〔総務委員会〕

- 極左暴力集団排除（財）山梨県防犯協会甲府支部支部長・山下日本）

議会を傍聴して

湯田二丁目

近藤 包子

六月三十日の市議会を初めて傍聴させて頂き、気がひきました。思いでした。殊にわが町在住議員の議長ぶりも堂々としていましたし、声もはっきりとして大きいので傍聴席にいてもよく聞えました。原市長さんの市政方針の演説も長時間立って説明する姿勢には、始めから終わりまで大変なことだとつくづく感じました。市長さん頑張ってくださいませ。それから選挙権を持っている人は、一度はこういう傍聴をさせて頂くことをおすすめします。

湯田二丁目

伊藤 達子

初めての経験で、いろいろな事に目を見張っておりました。市長様からの提出された甲府市隔々に及ぶ予算・条例など、長時間にわたる審議はご苦労なことだと思ひ、真剣に拝聴させていただき、議員さんの方々に目がいきま

したが、あのように苦労して市のため、町のための代表になられた事も忘れたのか、お疲れの事とは思いますが、居眠りなどなさらないで真剣に議会にあたってくださ

住み良い社会をお願い致します。



〈傍聴席風景〉

議会を傍聴しましょう

本会議は、皆さんの代表である議員の活動や、市政の方針、審査状況を直接傍聴することができます。傍聴手続きは直接議場にきていただき、傍聴人受付簿に自分の住所、氏名及び年齢等を記入するだけでどなたでも傍聴できます。

城東二丁目

清水 保野

定例会市議会を傍聴させて頂いた。午後一時開始、当日の傍聴者は座の三分の一ぐらい。その中で女性ばかり、五人だったように思う。地域で多くの問題をかかえている割合には傍聴者が少なく関心が薄いと思った。特に婦人の地位向上・男女平等・老人介護の問題等を考えなければならぬ現代社会において、まだ女性全般には浸透してないらしい。行政の問題を個人の問題として思考する人の少ないことも再認識させられた。議員の発言は多種多様であったが、当面の問題としては市制百周年に向けてのビジョンに行政・市民が一体となつてまい進することが急務であると思つた。午後四時半終了、外はいつしか秋雨が降り出していた。婦人がもっと市政に関心を持つよう願ひながら帰途についた。

より効果的な

安上りの行政の確立

市民クラブ

- 中西 久 小沢 綱雄
- 内藤 秀治 三井 五郎
- 早川 武男 上田 英文
- 原田正八郎 福島 勇
- 堀口 菊雄 千野 哮
- 宮島 雅展 村山 二永
- 依田 敏夫 清水 節子
- 牛奥 公貴 川名 正剛
- 宮川 章司 小野 雄造
- 皆川 巖

財政改革を推進するために、先ず議員がこれを実践すべきであるという決意をもって、その実現をはかったものです。

議員定数削減には議会内部でも強い反対勢力がありました。多数の市民から寄せられた定数削減意見を尊重して可決しました。この実績を踏まえて、更に、市民クラブは効果的な市政執行体制を確立するため、クラブ内に、

- 一 補助金及び市民組織研究委員会
- 二 O A化推進研究委員会
- 三 事務、事業の民間委託研究委員会

の、三専門委員会を設置し、独自の立場から実情の調査分析、可能性等について全員一致して意欲的に取り組んでいます。

また、百周年事業の重要課題である市庁舎問題及び二十一世紀に向けての新都市構想問題についても、財政問題を含めてその対応策を検討しています。

このように市民クラブは単に議会交渉団体ではなく、活力ある市政を確立するための「政策集団」としてその存在感を高めると共に、議会運営に当っては、その主体性を堅持しながら、他党派とも協調し、数の原理におおることなく、市民の声を率直に受けとめる誠実さを持って、「市民の負託」に

えてまいります。

より効果的な安上りの行政の確立に努力している市民クラブに対し、市民の皆様のお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

市政に対するご意見などがありましたら、お気軽に当クラブにお寄せ下さい。

更に市民の

生活向上をめざして

社会党・市民連合

- 飯島 勇 鈴木 豊後
- 中込 孝文 岡 伸
- 斉藤 憲二 石原 貞夫
- 細田 清

社会党・市民連合は、本年四月の統一地方選挙に於いて、定数削減による三六名定数に対し、七名が立候補致しまして、全員が当選を果たす事が出来ました。甲府市民の皆様は紙上をお借りして厚く御礼を申し上げます。

又、原市長も、市民の圧倒的支持を受けて、二期目の当選を果たしました。わが党派は、市長の与党の第二党として、原市長の政策理念を支え、市民の幸せと、生活向上を、更にたかめるため、今後四

年間、広く市民と共に歩む議会運営をめざして精一ぱいの努力を続けて参ります。

二年後に市制施行百周年を迎え、当面する、第三次総合計画策定に当っては、平和憲法のもと、豊かな人間社会の確立と、教育、福祉の充実をモットーに、健康で明るい「二十一世紀」への展望を切り開く政策の実現、即ち市民一人ひとりの生活向上を最重点に取り組む決意であります。

具体的には、山積する大型プロジェクト事業の一つ一つについていかに、市民の幸せにつながるかを基本に据えて提言し、その実現をはかって行きます。

市制施行百周年記念事業の推進とりわけ、新庁舎建設事業については、市民との充分なコンセンサスを基本に、実現をはかります。テクノポリス都市指定の推進と南部工業団地建設も又、重要課題であり、内需拡大と大甲府市構想への道でありますので、努力して行きます。甲府駅前再開発は、拠点都市整備事業として、これ又甲府市の発展にかかせない事業であり、商工業、特に地場産業の活性化の促進につながるものとしてその実現について努力致します。

更には、リニアモーターカーの甲府市への、実験線誘致等々、二十一世紀に向けての諸課題や、その他、市民生活が、より豊かになる

ための、議員活動と、気軽にご相談に應ずる相談所として、私共、社会党・市民連合は、皆様の負託に応えるべく、全員一丸となって勉強を続けて参りますので、今後とも、温かいご指導と御鞭撻をお願い申し上げます。

新しい社会システムの

創造を

公明党

- 小林 康作 堀内 光雄
- 堀内 征治 秋山 雅司
- 大村幾久夫

市民の皆様方に平素からのご支援とご協力心の底から感謝、御礼申し上げます。

甲府市の政治的課題への対応 新都市拠点整備事業、甲府テレピア計画、北部山岳地域の潜在資源開発、都市開発による土地利用計画など、現在甲府市のかかえる重要な課題に対し議会活動において、的確な責任ある発言をしております。そこで思いますのは、市民生活の不満や関心が多様化する中で共通するものは、社会システム（制度、慣行および社会資本、社会サービス、技術体系等）からなるトータルな社会の仕組みと人間生活との摩擦の拡大であり

意見

市民クラブは、市議会の最大会派としての責任と誇りをもって、全市民党的立場から、活力のある、しかも効率的な市政を確立することを信条として活動を展開しております。

四月の地方統一選挙に当っては、議員定数削減（実質的には八名の減員）を議員提案による条例改正で、これを実現致しました。

これは市の行

各 派 会

ます。

地方自治体と新しい社会システムの開発が必要

社会システム
の開発には、さまざまな問題点
がありますが、
高度な科学技術
の活用のみならず、市民の参加
とその創造力・
技術力の活用を
はかり、地方自治体主導型の開

発、そしてシステムの「社会的実験」と公開が不可欠であります。その制度的確立を図っていくことが必要であると考えます。

公明党は庶民の中で庶民のために
高額療養費の委任払い制度、大
学入学準備金貸付制度、又地方財
政計画と住民サービス、交通安全
と黄色ハンカチ運動など、公明党
らしく正々堂々と庶民の政党とし
て、庶民の側に立って、庶民のた

めの議会活動、日常活動に、懸命
に汗を流してまいりました。
みんなが主役の生き生きした人間
社会を

京都の甲府市である責任を自覚
し、五名の公明党甲府市議団は、
市民の声を生かして、次のような
基本政策を策定しております。
一、地方自治権と住民参加制度の

確立で住民福祉を推進します。

一、機動的な財政・金融政策の展開と民間活力の積極的活用を推進
します。

一、太陽と緑豊かな人間優先の都市と「ふるさと」をつくります。
など、政治で解決できるものは一生懸命政治で解決をしてみたいです。今後とも皆様の御支援御協力をよろしくお願い申し上げます。

行政の

チエック機能を果たす

政 新 会

内藤 幸男 剣持 庸雄
森沢 幸夫

いま、甲府市では「二十一世紀の市のありかた」を考え、昭和六十三年度からはじまる第三次総合計画が市民にとって、良き財産となるべき行政を行うべく鋭意立案に取り組んでおります。

議会でも、この総合計画案が真に市民の望むものであるか、市民の為に必要なものかを検討する準備をしております。

本市の財政は、国の補助金カクトのしわ寄せが直接市の台所に響き、借金は増える一方です。

そこで、私たちの会派では、財政を中心に行政が的確に行われて

いるか、特に無駄使いはないかを

チェックし、市民が馬鹿を見ないよう次の点に留意しております。

一、公平な行政執行が行われているか

皆さんが苦勞して納めている税金は、本市の一般会計の六十五パーセント近くを占めております。こうしたお金で賄う行政ですから、二十万市民に対して絶対に公平でなければなりません。

二、民間活力を積極的に取り入れ経費の節減を計る

今や行政だけの力では効果的な市政執行は期待できません。一定の線までは民間の力を活用して、よりよい市民サービスができるよう工夫すべきです。

三、行政改革は常に

行財政のあり方は時代の流れと共に変化します。民間活力導入とからめて市民の負担にならない改革を常に推進をして行くべきです。

四、甲府を「活力ある平和な市」にするために

商業の活性化は欠くことができませぬ。市街地の再開発と工業の育成を推進して、人口増を計るわけですが、特に中心部に人が定住する工夫が必要です。

市と民間が協力して行う最も大

切な目標として推進をして行くつもりです。

以上の点に重点をおいて努力しております。

市民のいのちと

くらしを守るために

日本共産党

武川 和好 加藤 裕

日本共産党市議団は、公正な地方政治の実現、市民こそが主人公であるという住民本位の市政実現のために、総力をあげて奮闘いたします。

一、自校方式の中学校給食の実現

県下六十四市町村の中で中学校給食が実施されていないのは、甲府市を含めた三市町村のみです。

共働き家庭、母子家庭、父子家庭などの増加により生活環境が多様化している現在、成長期の中学生にバランスのとれた食事と正しい食生活の習慣を教育の場でも行ってほしいとの声は切実なものとなっております。教育の一環としての学校給食実現のために全力を尽くします。

二、国保料の引き下げと制裁措置を撤回させます。

甲府市の国保料はこの四年間で八五%の値上げがされました。国

民皆保険制度の下で本来安くなければならぬ保険料が今では高く

て支払えない状況です。また支払えない人達を悪質滞納者とみなしての制裁措置も行われています。

保険料を引き下げて支払える額にすると同時に制裁措置をやめさせ全ての人が安心して医療機関にかかれるようにいたします。

三、児童公園、文化会館の充実を

市内には、公園、ちびっ子広場を含めて一三〇ヶ所以上あるのですが、それぞれの地域で満たされていないというにはほど遠くバラつきがあります。未来を担う子供達が、自由にのびのびと遊べる広場、お年寄りが安心して憩える公園、児童館や文化会館などの充実を計ります。

四、福祉充実のために

老人医療費無料制度の復活をはかり、現在増加の傾向にある痴呆症老人ホームの増設など諸施設を充実させ、老後の保障充実のために全力を尽くします。

五、下水道完全普及

全市で早期に一〇〇%普及をの声を切実です。生活環境整備のための諸施策を優先的に行うよう今後も追及いたします。

私達は、今後とも引き続き身近な政治の相談相手として頑張る決意です。

人事院勧告完全実施に

関する意見書

人事院は去る八月六日、国家公務員の給与改定について、平均一・四七%、三、九八五円引き上げよう政府と国会に勧告しました。本年の勧告は、昨年をさらに下回り史上最低の勧告であり、賃金改善につながるとはいえませんが、人事院勧告制度は、労働基本権制約の代償措置として完全実施されるべきであります。

人勤制度は、公務員労働者とその家族の生活の基本となるものであり、これと連動する年金生活者や関係団体にも直接影響を与えています。また、人事院勧告を完全実施することによって円高不況を少しでも打開し、内需拡大、地域経済活性化を図ることが絶対必要です。

よって甲府市議会は政府に対し速やかに人事院勧告完全実施の具体的措置を講ずるよう強く要望するものであります。

極左暴力集団並びにすべての暴力行為排除に関する決議

最近極左暴力集団による、重要施設や個人を対象とした、卑劣で

凶悪な事件が続発しています。

本市においても「北富士問題」に関連して、「自衛隊山梨地方連絡部車両放火事件」をおこすなど市民の平穏な生活を脅かし社会不安を増大させています。

こうした反社会的破壊行為は市民の生命、財産に重大な危害を及ぼすものであり、断じて許すことはできません。

よって甲府市議会は、安全で住みよい市民生活を確保するため、極左暴力集団並びにすべての暴力行為を排除する気運を醸成するとともに、国に対し対策の充実強化を図るよう強く要望するものであります。

意見書・決議

第十次道路整備五箇年計画の投資規模確保等に関する決議

道路は、真に豊かな国民生活の基盤を形成する最も基本的な施設であります。

このため、社会構造の変化に的確に対応した道路整備の推進は、現下の緊急な課題であり、第四次全国総合開発計画がめざす多極分散型国土実現の根幹となる高規格幹線道路をはじめ市町村道に至るまでの道路事業を強力に推進する必要があります。

よって、政府におかれては、国民生活の基盤となる道路の整備が今後とも計画的に進められるよう、次の事項について、特段の御配慮を賜るよう強く要望します。

一、国民生活の充実と経済社会の活性化の基盤である道路の整備を着実に推進するため、第十次道路整備五箇年計画の策定にあたり、投資規模の大幅な確保を図ること。

一、道路関係諸税の暫定税率を延長するとともに、揮発油税、自動車重量税等の道路特定財源は全額を道路整備費に充当することとはもとより、一般財源を大幅に投入すること。

米国・欧州に

議員を派遣

十月十一日から二十日まで、第三十六回全国市議会行政視察団「米国班」に小林康作、原田正八郎の両氏を、また、十月十七日から十一月二日まで、同視察団「欧州班」に福島勇、中込孝文の両氏をそれぞれ派遣しました。

市制施行記念式典で

議員表彰

本市の市制施行九十八周年を記念する式典が、十月十七日に県民会館大ホールで挙行され、多年市政に功績のあった市民の方々と共に、市議会からも次の議員が、そ

議員の年賀状の自粛について

甲府市議会は、議員の年賀状について、自粛することに申し合わせましたので、誠に勝手ながら市民の皆様のご理解をお願い申し上げます。

市民の皆様へ

甲府市議会議員一同

それぞれ表彰されました。

有功表彰 飯島 勇

善行表彰 鈴木 豊後

” 石原 貞夫

視察) 8月

3日 都市構想に関する調査特別委員会

10日 総務委員会(懇談会)

12日 経済都市開発委員会(懇談会)

19日 庁舎建設構想に関する調査特別委員会

31日 都市構想に関する調査特別委員会

9月 9日 総務委員会(懇談会)

4日 経済都市開発委員会(懇談会)

9日 建設水道委員会(懇談会)

12日 各会派代表者会議

16日 庁舎建設構想に関する調査特別委員会

18日 都市構想に関する調査特別委員会

24日 議会運営委員会

25日~10月2日 九月定例会

議会



7月

6月30日~9日 六月定例会

3日 各会派代表者会議

6日 各会派代表者会議

9日 各会派代表者会議

庁舎建設構想に関する調査特別委員会

都市構想に関する調査特別委員会

委員会

14日 経済都市開発委員会(懇談会)

18日 各会派代表者会議

27日 庁舎建設構想に関する調査特別委員会

29日 民生文教委員会(懇談会)

30日 経済都市開発委員会(現地